



谷本連覇

柔道女子63キ級

オールド一本勝ち

【北京12日共同】北京五輪第5日の十二日、柔道女子63キ級で谷本歩実

(27)ニコマツが2連覇を達成した。日本柔道の五輪連覇は

男子60キ級を3連覇した野村忠宏(ミキハウス)、同95キ級の斉藤仁(現車)、男子66キ級の内柴

男子監督)、女子48キ級の谷亮子(トヨタ自動車)

正人(旭化成)に続いて5人目。谷本は初戦の2回戦から4試合すべて一本勝ち。決勝はリュシ・ドコス(フランス)を倒して頂点に立った。

昨年の世界選手権3位の谷本は、今年四月の全日本選抜体重別選手権で準優勝ながら五輪代表に選ばれた。腰痛とも闘いながら、大舞台で偉業を達成した。

今大会、日本の金メダルは男子66キ級の内柴、競泳男子百メートル平泳ぎの北島康介(日本コカ・コーラ)に続いて3個目。

一本取る 柔道貫く

谷本歩実の話 すごくうれしい。うれしいの言葉に尽きる。今までたくさんの人に支えてもらった。ここまで来られたのも、わたし一人の力じゃない。一本を取る柔道をわたしは教えてもらったので、それを貫いた。(連覇は)びっくりです。

女子63キ級決勝でフランスのドコス(右下)を破り、金メダルを獲得した谷本歩実＝北京科技大体育館(共同)

